



LED照明が設置されたアリーナを視察する笹栗市議

体育館にLED照明 児童ら利用者に喜び広がる

福岡・
糸島市

福岡県糸島市の市立長系小学校(辰野孝校長)の体育館が先ごろ改築され、アリーナの照明が発光ダイオード

(LED)電球に取り換えられた。明るく便利な照明が設置され、児童や地域住民などから喜ばれている。

設置されたのは約607平方メートルのアリーナで、従来の水銀灯から専用LED(25個)に交換。消費電力は水銀灯と比べて約半分になる。市学校教育課によると、公立学校の体育館をLED照明にした例は県内でも少ない。

辰野校長は「照明の点灯が格段に早くなった。電球交換の負担も軽くなり、助かる。児童たちも本当に喜んでいいる」と述べた。体育館を利用する地域のス

ポーツチームにも好評だ。

公共施設照明のLED化については、市議会公明党の笹栗純夫議員が2010年6月定例会などで提案し、早期実現を推進していた。